

令和6年度「尾道版『学びの変革』推進事業」に係る
研究推進実施計画書

尾道市立栗原中学校 校長 本安 公範

1 学校経営構想 (別紙)

学校経営目標

「栗原に愛着と誇りを持つ」
～一人一人の知恵と行動を結集し、笑顔で一丸となる教職員集団～

スクールミッション

主体性と規範意識を身に付け、心を育てる小中連携教育の推進

育てたい生徒像

- 周りから応援される生徒
- 自分自身が好きで、仲間を大切にし、人の痛みがわかる生徒
- 栗原が好きで、愛着と誇りを持てる生徒
- 夢や志を抱き、自ら学び、考え、判断し、主体的に行動できる生徒

2 教育研究構想 (別紙)

3 研究の概要

(1) 研究主題・副題

未来に向けてよりよい選択をする生徒の育成
～ 生徒全員が生き生きと取り組む「個別最適な学び」を通して ～

本校において、「未来に向けてよりよい選択をする」とは、最善解を求め、自ら考え、決定し、実行していくという意味である。そのためにも、日々の授業や行事等の中で、これまで培ってきた思考力・判断力を活用し、「問い」に対する自分なりの「解」を明確にもつことが大切であると捉えている。

(2) 研究主題の設定理由

昨年度までは、「思考力・判断力・表現力等の育成」を目指して各教科等で単元開発を実施するとともに、スクールミッション「主体性と規範意識を身に付け、心を育てる小中連携の推進」を踏まえ、全教職員による研修や、一人一授業研究の取組を行ってきた。

成果としては、教職員の意識改革につながり、その結果として授業改善が図られ、生徒の意欲の向上につながったことが挙げられる。一方で、課題としては、ICTの効果的な活用や、一人一人の実態（特性）に応じた丁寧な指導が不十分だった点等が挙げられる。

今年度は、広島県教育委員会から「特別支援教育の考え方を生かした個別最適な学び推進プロジェクト校」の指定を受け、特別支援学級の指導の充実を図るとともに、通常の学級を含む学校全体で特別支援教育の考え方を生かした授業改善に取り組むことにより、学校教育の質の向上を図る。

(3) 研究のねらい

「個別最適な学び」を意識した授業改善を学校全体で行うことを通して、生徒の学習意欲の向上と基礎学力の定着を図る。

(4) 研究仮説

生徒一人一人の実態に応じて、「個別最適な学び」を意識した授業改善を学校全体で進めることができれば、生徒が主体的に判断し、意欲的に学習に取り組むとともに、生徒の基礎学力が向上するであろう。

(5) 研究内容（研究の方向）

- ① 生徒一人一人の実態を把握する。
 - ・ 個別の支援計画，指導計画の作成及び活用
 - ・ 校内研修会（情報共有）の定例化（生徒理解・事例研修）
- ② 「個別最適な学び」を意識した授業改善を学校全体で進める。
 - ・ I C Tの活用
 - ・ 指導の個別化
 - ・ 学習の個性化

(6) 検証の指標

- ①－1 個別の支援計画及び指導計画の作成
- ①－2 校内研修会の実施
- ②－1 生徒意識調査
- ②－2 教職員意識調査

(7) 到達目標

- ①－1 個別の支援計画及び指導計画の作成
 - ⇒ 作成必要な生徒 100%
- ①－2 校内研修会の実施
 - ⇒ 月1回以上の実施 100%
- ②－1 生徒意識調査／各種学力調査
 - ⇒ 肯定的評価 80%以上
 - ⇒ 全国平均を上回る 100%
- ②－2 教職員意識調査
 - ⇒ 肯定的回答 90%以上

4 指導・助言者

氏 名	所属・職名等	備 考
信木 伸一	尾道市立大学教授	学校関係者評価員
平川 真衣	広島県教育委員会・指導主事	
中川 夏実	尾道市教育委員会・指導主事	

5 研究計画

月 日		研 究 内 容	講 師
4 月 1 日 (月) 栗原中	第 1 回 校内研修	令和 6 年度学校経営全体構想	校 長 本安 公範
4 月 4 日 (木) 栗原中	第 2 回 校内研修	令和 6 年度教育研究構想 今年度の教育研究について	校 長 本安 公範 研究主任 岡野 有希
4 月 2 4 日 (水) 栗原中	第 3 回 校内研修	「個別最適な学び」について	広島県教育委員会指導主事
5 月 1 5 日 (水) 栗原中	第 4 回 校内研修	「特別支援教育」について	広島県教育委員会指導主事
5 月 2 2 日 (水) 栗原中	第 5 回 校内研修	「授業改善の在り方」について	広島県教育委員会指導主事
6 月 1 2 日 (水) 栗原中	第 6 回 校内研修 校内研究授業	全体研修 授業研究 5 校時 研究協議 6 校時	尾道市立大学 信木伸一教授 尾道市教育委員会指導主事
6 月 1 9 日 (水) 栗原中	第 7 回	「I C T の活用」について	広島県教育委員会指導主事
7 月 8 日 (月) 栗原中	第 8 回 校内研修 校内研究授業	全体研修 授業研究 5 校時 研究協議 6 校時	尾道市教育委員会指導主事
夏季休業中	第 9 回 校内研修	1 学期まとめ・2 学期に向けて 生徒アンケート分析 授業公開に向けて	研究主任 岡野 有希
9 月 1 1 日 (水) 栗原中	第 1 0 回 校内研修	授業公開に向けて	校 長 本安 公範 研究主任 岡野 有希
9 月 1 8 日 (水) 栗原中	第 1 1 回 授業公開	授業公開並びに協議	尾道市立大学 信木伸一教授 広島県教育委員会指導主事 尾道市教育委員会指導主事

10月16日 (水) 栗原中	第12回 校内研修	「個別最適な学び」について	広島県教育員会指導主事
11月20日 (水) 栗原中	第13回 校内研修	「個別最適な学び」について	広島県教育員会指導主事
冬季休業中	第14回 校内研修	2学期まとめ 生徒アンケート分析 検証問題の結果分析	研究主任 岡野 有希
時期調整中 栗原中	第15回 初任者研修 校内研究授業	初任者研修 研究授業 5校時 研究協議 6校時 ・授業改善について	尾道市教育委員会指導主事
時期調整中 栗原中	第16回 2年目研修 校内研究授業	2年目研修 研究授業 5校時 研究協議 6校時 ・授業改善について	教 頭 松浦 淳 研究主任 岡野 有希
時期調整中 栗原中	第17回 6年目研修 校内研究授業	6年目研修 研究授業 5校時 研究協議 6校時 ・授業改善について	教 頭 松浦 淳 研究主任 岡野 有希
時期調整中 栗原中	第18回 中堅研 校内研究授業	中堅研 研究授業 5校時 研究協議 6校時 ・授業改善について	校 長 本安 公範 研究主任 岡野 有希
10月～2月	校内授業研究	一人一授業研究 指導案を作成し，研究授業を行う	教 頭 松浦 淳 研究主任 岡野 有希
2月 栗原中	第19回 校内研修	研究のまとめ 来年度に向けて	校 長 本安 公範 研究主任 岡野 有希

別紙様式 1

令和 6 年度「尾道版『学びの変革』推進事業」に係る
研究推進予算計画書

尾道市立栗原中学校 校長 本安 公範

費 目		金 額	明 細
節	細 節		
<u>報 償 費</u>	講師報償費	① 23,000 円	①尾道市立大学 信木伸一 教授（9 月） 5,750 円×4 時間
	報償費小計	23,000 円	
<u>旅 費</u>	講師旅費	① 0 円	①尾道市立大学 信木伸一 教授（9 月）
	視察旅費	③ 46,620 円	③先進校視察（1 月） 関西方面学校視察 （新幹線利用，日帰り）15,540×3 人
	旅費小計	46,620 円	
合 計		69,620 円	

※報償費、旅費合わせて7 万円以内の予算内で計上してください。